

2019年度の名古屋市博物館

1階展示室 特別展・企画展

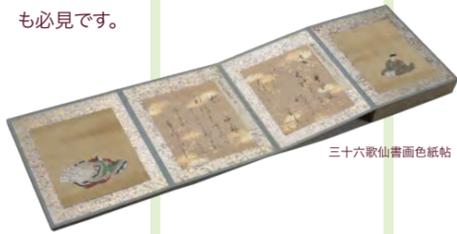
4/27

6/2

企画展 書で集う

一鏡うたのしみ 江戸時代の寄り合い書き一

複数人で一つの作品を作る「寄り合い書き」をテーマに、画家と公卿らが協同で計画的に作った画帖や、文人の交流から生み出された書画など、江戸時代の書を中心に紹介します。また、作品作りには欠かせない、書法技術や制作背景にも注目していきます。近年話題の、音楽やダンスの要素が加わった現代の「書道パフォーマンス」の作品も展示します。メンバーの気持ちを一つにして、大きな作品を作り上げる過程も必見です。



三十六歌仙書画色紙帖

2階展示室 常設展「尾張の歴史」

■フリールーム 常設展示室の中の展示替えコーナーです。長期間展示できない資料や新収資料などを中心に、小規模な企画展示を随時開催しています。

3/27

5/12

5/14

6/23

6/26

8/25

8/28

昭和天皇の即位御大典

大正15年(1926)大正天皇が崩御し、皇太子裕仁親王は直ちに皇位を継いで「昭和」と改元しました。喪が明けた昭和3年(1928)に挙行された、昭和天皇の即位御大典や名古屋での祝賀行事などを絵葉書を中心に紹介します。



御大典記念絵葉書「聖駕名古屋離宮へ進御」

■テーマ10 近世尾張の文化 名古屋城下の文化的な繁栄ぶりをしめす絵画や工芸品などを、定期的に展示替えしています。

3/27

5/26

5/29

6/23

6/26

7/21

7/24

8/25

ぶかく舞楽

舞楽は宮廷や社寺の儀式の際に演じられ、尾張でも中世から盛んに行われていました。絵画を中心に、舞楽に関連する資料を紹介します。



帆船唯念 尾張浜主図(部分)

■テーマ16 まつり 山車のからくり人形やまつりの道具などを、定期的に展示替えしています。

1/23

4/21

4/24

6/23

6/26

8/25

8/28

郷土玩具とまつり 岐阜・三重・静岡

祭りにまつわる郷土玩具のうち、岐阜・三重・静岡県に関するものを紹介します。

かしじんしゃ 鹿子神車山車模型

東区新出来の山車鹿子神車は、6月第一土日の出来町天王祭に曳き出されます。その祭りに携わっていた方が製作した山車模型を、祭りの様子とともに紹介します。



鹿子神車山車模型

海と平野の天王祭り

尾張地方で盛んな天王祭りについて、海(沿岸部)と平野(内陸部)の資料から紹介します。



オミヨシサン 常滑市西ノ口

中近世の石造物

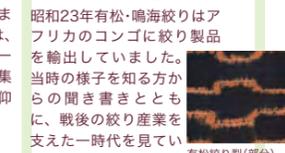
中世以降、人々は神仏への信仰や墓標として、五輪塔や宝篋印塔、石仏などさまざまな形の石造物をつくりました。館蔵資料を中心に、石造物もつ魅力を紹介します。



宝篋印塔・五輪塔・一石五輪塔

浄土へのあこがれ

阿弥陀如来の待つ理想郷、極楽浄土への生まれ変わりを願うことは、日本仏教の重要なテーマでした。近年の収集品を中心に、浄土信仰の美術を紹介します。



三尊来迎観音(部分) 愛知県指定文化財 弘浄寺伝来

有松・鳴海絞り アフリカへ行く

昭和23年有松・鳴海絞りはアフリカのコンゴに絞り製品を輸出していました。当時の様子を知る方からの聞き書きとともに、戦後の絞り産業界を支えた一時代を見ていきます。



有松絞り製(部分) 個人蔵

ゲームセンターの思い出

スペースインベーダーやパックマンなど、ブームを巻き起こしたゲームセンター。実際にプレイしながら、ゲームセンターの思い出に浸ってください。



テーブル筐体 画像提供:日本ゲーム博物館

源氏絵

日本美術の中で最も多く描かれてきた源氏絵。屏風や絵巻物に広がる『源氏物語』の世界をお楽しみください。



源氏物語絵巻 桐壺(部分)

大口周魚とその周辺

大口周魚(1864~1920)は、名古屋出身の歌人・書家・日本書道史研究者です。上京後も常に中京地区出身の人物らと交友を深めながら活動していた様子を紹介します。



大口周魚書写「太田切和漢朗詠集」

さらき更紗

木綿布に草花や動物を染め付けたインド発祥の更紗。さまざまな地域へ渡り、その土地好みの模様へと発展していきました。今も私たちを惹きつけるエキゾチックな模様の数々をお楽しみください。



更紗製(部分) 松坂屋コレクション

没後200年 余延年

余延年(山口九郎左衛門、1746~1819)は江戸時代に活躍した大高(緑区)の篆刻家(印を作る人)です。没後200年を記念して、余延年作成の印章や関連資料を展示します。



余延年作「静石之印」(権文方印) 個人蔵

秀吉の朝鮮出兵と尾張

天正20年(1592)3月、秀吉は肥前国名護屋城に出陣し、文禄の役が始まりました。2度行われた秀吉の朝鮮出兵、その1回目「文禄の役」について尾張の情勢とともに紹介します。



豊臣秀吉朱印状

浮世絵にみる有松絞店

有松絞の店頭風景を描いた浮世絵を新収資料も含めて紹介します。



歌川広重「東海道五拾三次之内 鳴海 名物有松絞」

正月の遊び

すごろくや羽子板、名古屋風の凧など正月の遊び道具を展示します。



羽子板と羽根

馬の塔の飾り

尾張地方で盛んな祭礼のひとつに、飾り立てた馬を寺社へ奉納する「馬の塔」があります。馬を飾った馬道具を、そのデザインに注目して紹介します。



守山白山社蔵資料より 義経八幡飛びを題材にした陣笠(あおり)

イベント・セミナー ※参加にあたり、障害等により特別な配慮が必要な方は、事前申込みの事業は申込み時に、当日参加の事業は2週間前までに博物館にご相談下さい。

歴史体験セミナー

②③の応募は、往復はがき(1通2名まで。参加者氏名・年齢・希望日時・住所・電話番号記載)・名古屋電子申請サービスのいずれかにてご応募下さい。詳しくは、博物館公式サイトをご覧ください。

- ① むかしのおもちゃで遊ぼう! 7/17(水)~9/1(日) 開催日9:30~16:30 会場:2階ロビー 参加費:無料
- ② 自分だけのまが玉づくり 8/24(土)・25(日) 各日2回 (1)10:00~11:30 (2)13:30~15:00 定員各回50人(小学校3年生以下は要保護者同伴) 参加費:1人400円 ※要事前申込(申込期間:7/1~7/19必着)
- ③ おいしく作ろう おこしもん 2/22(土) 2回 (1)10:00~11:00 (2)11:30~12:30 定員各回60人(小学校3年生以下は要保護者同伴) 参加費:1人400円 ※要事前申込(申込期間:1/6~1/29必着)



各種イベント

- 当館にて開催する様々なイベント
- ① ワークショップまつり 7/27(土)・7/28(日) 常設展観覧料が必要です。博物館ボランティアによるワークショップまつりです。
- ② ナイトミュージアム 8/4(日) 夜の博物館を体感するイベントです。常設展で開催します。
- ③ はくぶつかん古書市 12/7(土)~12/15(日)
- ④ 考古学セミナー 12/7(土)・12/8(日) 聴講無料 愛知県埋蔵文化財センターと共催。愛知県及び近隣の考古学の活動発表会です。最新考古学情報を紹介します。

9/21

11/4

伊勢湾台風60年事業 特別展 治水・震災・伊勢湾台風

東日本大震災以降日本列島が「災害時代」を迎える中、昭和34年(1959)9月26日の伊勢湾台風から今年で60年が経ちます。そこで本展では、江戸時代の治水、安政東海地震や濃尾震災などの大地震、そして伊勢湾台風を中心に、濃尾平野の歴史的な災害について、独自調査の成果をふまえて地域史の深みから迫ります。



伊勢湾台風被害写真(山本せつ子氏寄贈) 身元不明者の衣服を見つめる少女 南響寮著にて

9月9日~17日は館内点検のため休館します。

11/16

12/28

特別展 発掘された日本列島2019

地域展 尾張の城と城下町 一三英傑の城づくり・町づくり

日本各地では、毎年数千件に及ぶ埋蔵文化財の発掘調査が行われています。本展ではそれら全国で実施されている近年の調査成果から、注目される遺跡の最新情報を選びすぐって紹介します。また地域展では、尾張地域における中近世城館の発掘成果から、築城やインフラ整備などの「土木事業」に焦点を当てます。



清洲城下町遺跡出土金箔鬼瓦 清須市蔵

信長・秀吉・家康という「三英傑」ゆかりの城の変遷を通して、戦国時代から江戸時代への流れをダイナミックにたどります。

10/20

10/22

源氏絵

日本美術の中で最も多く描かれてきた源氏絵。屏風や絵巻物に広がる『源氏物語』の世界をお楽しみください。



源氏物語絵巻 桐壺(部分)

10/22

11/24

11/27

12/22

12/25

さらき更紗

木綿布に草花や動物を染め付けたインド発祥の更紗。さまざまな地域へ渡り、その土地好みの模様へと発展していきました。今も私たちを惹きつけるエキゾチックな模様の数々をお楽しみください。

没後200年 余延年

余延年(山口九郎左衛門、1746~1819)は江戸時代に活躍した大高(緑区)の篆刻家(印を作る人)です。没後200年を記念して、余延年作成の印章や関連資料を展示します。

秀吉の朝鮮出兵と尾張

天正20年(1592)3月、秀吉は肥前国名護屋城に出陣し、文禄の役が始まりました。2度行われた秀吉の朝鮮出兵、その1回目「文禄の役」について尾張の情勢とともに紹介します。

浮世絵にみる有松絞店

有松絞の店頭風景を描いた浮世絵を新収資料も含めて紹介します。

10/20

10/22

12/8

12/10

1/26

1/29

名古屋のまつりと郷土玩具

祭りにちなんだ縁起物、山車やからくり人形の玩具など、名古屋の祭りに関する郷土玩具を紹介します。



郷土玩具「牛若」

南区牛毛神社の祭礼用具

馬を飾り付ける馬道具、笠鉾車の部材など、牛毛神社(南区元鳴尾町)で使用された祭礼用具を展示します。



牛毛神社の祭礼用具

正月の遊び

すごろくや羽子板、名古屋風の凧など正月の遊び道具を展示します。



羽子板と羽根

馬の塔の飾り

尾張地方で盛んな祭礼のひとつに、飾り立てた馬を寺社へ奉納する「馬の塔」があります。馬を飾った馬道具を、そのデザインに注目して紹介します。



守山白山社蔵資料より 義経八幡飛びを題材にした陣笠(あおり)

はくぶつかん講座

当館学芸員・調査研究員が講師をつとめる講座です。10:30開講(10:00開場)。聴講無料。各回、当日先着100名。

- 第1回 6/1(土) 中近世の石造物
- 第2回 8/10(土) 有松・鳴海絞りアフリカへ行く
- 第3回 9/7(土) 源氏物語絵巻 桐壺
- 第4回 11/2(土) 大口周魚とその周辺
- 第5回 11/30(土) 石槍をつくる
- 第6回 1/11(土) 秀吉の朝鮮出兵(文禄の役)と尾張
- 第7回 2/8(土) 瀧の文化
- 第8回 2/29(土) 有松絞と浮世絵

*画像のうち、特に表記のないものは、名古屋博物館・名古屋蓬左文庫・名古屋秀吉清正記念館の収蔵品です。
*展覧会名称や会期等の詳細は今後変更される場合があります。最新情報は博物館公式サイトで。http://www.museum.city.nagoya.jp/

